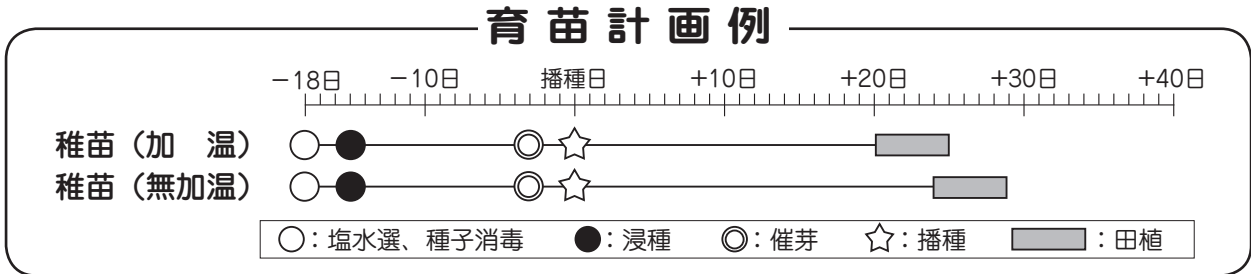


30年度はJA魚沼みなみの底力!!

平成30年の米づくりもいよいよスタートします！29年産米の1等級比率は85.4%で平成23年から90%に達していません。日本一のブランド産地としての底力を今年こそ発揮して、最高品質の南魚沼産米をPRしていきましょう！
そのためには健苗育成を行い、最高のスタートを切りましょう！

作業日程のめやす

- 塩水選・種子消毒 … 4月5日～10日頃
- 播種日 …………… 4月20日～25日頃
- 田植日 …………… 5月15日～25日頃



田植え予定日から逆算して育苗計画を立てましょう。

※平成29年産種子の休眠は 平年並み と推定されます。

塩水選 …… 充実した種子を選別します

- ・種もみを入れたら棒などでかき混ぜ、底に沈んだ充実した種もみを使用しましょう。
なお、塩水選後は、種もみをよく水洗いしてください。
- ※塩分が付着した状態で温湯消毒を行うと極端に発芽率が低下する恐れがありますので、特に注意が必要です。

●塩水の作り方：水10ℓ当たりの食塩量

区分	水の量	食塩の量
うるち (比重 1.13)	10ℓ	1.9kg
もち (比重 1.08)		1.1kg

種子消毒

・・・種子伝染病害の防除

◎薬剤消毒の場合

薬剤の使用方法を守り、種子に薬剤を確実に付着させて消毒の効果を高めましょう。

①テクリードCフロアブル

消毒後水洗いせずに、浸種を行ってください。風乾を行うと効果が高まります。

消毒方法	処理方法
低濃度浸漬	200倍液・24時間浸漬
高濃度浸漬	20倍液・10分間浸漬
種子塗抹	原液を粉1kg当たり5ml塗抹（原液の場合）

【薬剤使用量の目安】

種もみの量	5kg	10kg	25kg	50kg	同一薬剤の使用回数
水の量	10ℓ	20ℓ	50ℓ	100ℓ	
低濃度浸漬の場合(200倍)	50ml	100ml	250ml	500ml	1回のみ
高濃度浸漬の場合(20倍)	500ml	1,000ml	2,500ml	5,000ml	反復使用可能

②タフブロック（微生物農薬）

- ・使用時期：催芽時
- ・使用量：200倍 24時間
- ・使用回数：1回のみ
- ・目安は上記の表を参考にしてください。（mlをgに置き換える）
※育苗時に苗を抜いて、種子部分が黄色くなっていると、効き目のサイン！
※催芽前に使用する際は、200倍で24～48時間の浸漬が可能です。

◎温湯消毒の場合

- ・処理温度は60℃、処理時間は10分を厳守。
- ・温湯消毒後は速やかに清水で冷却してください。

※温湯消毒は農薬を使用しない消毒方法ですので、消毒後はなるべく早めに浸種に移ってください。浸種までに時間が空いてしまうと、種子に雑菌が付着する恐れがあります。また、やむを得ず保存する場合は、しっかりと乾燥させてから冷暗所で保存してください。

※注意

種子消毒の残液、廃液及び容器・器具などの洗浄に使用した水を排水路や河川などに流さないでください。

浸種

・・・必ず水道水や井戸水などの清水を使用してください。

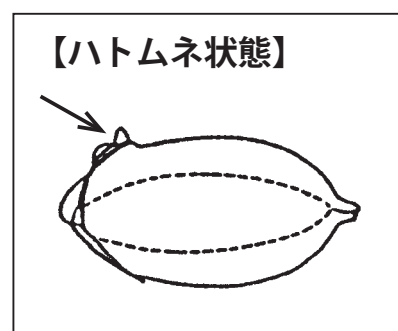
- ・種もみと水の容量比は1：2です。(種もみ1kgに対して水約3.5ℓの割合)
- ・発芽揃いを良くするため、浸種水温は10～15℃とし、積算水温100℃を目安に行いましょう。浸種初期の水温が低いと発芽率が低下します。
- ・消毒効果を高めるために、前半4日間は水を取り替えないでください。
- ・その後は酸欠を防ぐため水を2～3回更新し、上下を反転させましょう。
- ・十分に吸水した種もみは、籾殻の色が透き通った“あめ色”になります。
- ・温湯消毒のみの処理後、浸種を行う場合は、菌が繁殖しやすいため、水の更新を早めに行ってください。

催芽

(播種日3日前)・・・播種日に合わせて実施

- ・温度は30℃でハトムネ状態に仕上げましょう。
- ・日数は1～2日が目安ですが、発芽状態を必ず確認してから終了してください。
- ・温度が30℃を超えると、細菌性病害が発生しやすくなり、低いとばか苗病の好適温度となるので注意しましょう。
- ・「コシヒカリ」や「五百万石」などの発芽しにくい品種は、発芽不足にならないように注意し、発芽率80%以上になるよう日数を調整してください。

催芽終了時の種もみの図↓



床土と覆土の準備

◎自分で床土を作る場合 床土・覆土の目安

分類	資材名	1袋の量	1袋で出来る箱数	1箱当り
床土	川西床土 又は 育苗床土(ホーネンス)	20kg	8箱	2.5ℓ (約2.5kg)
覆土			16箱	1.25ℓ (約1.2kg)
床土	ピートモス	50ℓ	62箱	0.8ℓ (4.5合)
混和	稚苗用苗代配合	10kg	330～400箱	25～30g

◎ホーネンス培土を使用する場合

- ・培土にはすでに肥料、ピートモスが混和されています。
- ・床土1箱当り2.8kg使用が目安で、窒素成分1.3gとなります。
- ・覆土は無肥料の床土を使用してください。

◎細菌性病害対策

細菌性病害のために対策を行いましょう。

分類	資材名	1袋の量	1袋で出来る箱数	1箱当り	使用時期
覆土	カスミン粒剤	3kg	150箱～200箱	15～20g	覆土前
育苗箱 全体	ダコニール粉剤	3kg	150箱～200箱	15～20g	は種前
	タチガレエースM粉剤	1kg	125箱～165箱	6～8g	は種前

春の育苗指導会のご案内

●開催日時

4月3日(火)
14:00より

●開催会場

JA 魚沼みなみ
営農センター大会議室

《内 容》

- ・ プール育苗のポイント
- ・ 健苗育苗のポイント
- ・ その他



消雪情報 (3月5日現在)

● 城内地域開発センター

- ・ 積 雪 129cm (前年 119cm)
- ・ 消雪予想 4月9日



携帯メール会員募集!!

無料(通信料は除く)でタイムリーな生育状況や緊急情報をメールで配信しています。

登録の仕方がわからない方は、携帯を持って普及指導課にお越しください。こちらで登録いたします!

登録は下記メールアドレスへ空メールを送信

beikoku@haisin.jp

または、右記 QR コードをご利用ください。➔



予告

次回のおいしい米づくり情報は、

播種や育苗関係について掲載する予定です。

ご不明な点等がございましたら JA 普及指導課(TEL777-3786)までお問い合わせください。